

PRESS RELEASE

KpnetworksがHOSIDENとBluetooth® Smartタグ 及びゲートウェイ・ソリューションの共同開発

～ 医療機関向け位置情報サービスを目指して～

Kpnetworks株式会社（本社：港区、代表取締役：山本直延、以下KPN）は
ホシデン株式会社（本社：大阪府八尾市、東証一部 6804、代表取締役社長：
古橋健士、以下HOSIDEN）とBluetooth® Smartタグ及びゲートウェイを使っ
たソリューションの共同開発を発表した。

【背景】

近年、O2Oやオムニチャンネル、屋内位置情報の分野でBluetooth® Smart 無線
技術を使った様々なソリューションが注目を浴びている。Beacon技術は特に欧
米市場において商業施設などで個別の顧客に対応した付加価値サービスの対応
や商品プロモーション、さらには顧客や従業員の店内移動のパターン把握に大き
な効果をあげている。スポット展開になりがちなWi-Fiの弱点をカバーすること
により、大きな可能性を示し、ここからの数年間は屋内ソリューションの主力デ
バイスとして期待されている。

しかしながらBluetooth® Smart無線技術は電波出力が低い上、通信帯域も狭
く、その技術を使った位置情報サービスにおいても、Wi-Fiの位置測位に限界が
あるように、Bluetooth®もデバイスやタグの種類、そして見通しに大きく左右
され、技術的課題が少なくはない。

【概要】

KPNとHOSIDENは5月11日、PicoCELA方式で連続Wi-Fi空間を容易に構築でき
るKPWLシリーズのアクセスポイント技術と、HOSIDENが培ったBluetooth®

Smartタグ及びゲートウェイの技術を組み合わせることによって、位置測位におけるそれぞれの技術的課題をカバーし、屋内での位置情報の精度を高め、コストを大幅に抑えたソリューションの共同開発を行なっていくことで合意し、プロジェクトチームを立ち上げた。今後両社は、医療機関向けの位置情報ソリューションを中心に連携を深めていく予定である。すでに5月より岡山県内の病院にて医療機関向けソリューションの実証実験を行うことが決まっており、2015年度中に病院、介護施設を中心としたソリューションの実導入に向けた商談を開始している。

【位置付け】

KPNはIoTに向けた系統的な戦略の一環として、今回の共同開発プロジェクトをシナジーの高いパートナーであるHOSIDENと組むことにより、無線多段中継技術を使った連続Wi-Fi空間とBluetooth® Smartタグとゲートウェイを組み合わせることにより生まれる新たな可能性を実現化し、日本発の技術革新を促すプロジェクトとして位置付けている。

お問い合わせ：

Kpnetworks株式会社 営業部

03-5439-4920

info@kpnetworks.jp

URL:

www.kpnetworks.jp